

枚方宿くらわんか五六市

2021年 6月9日

一般社団法人枚方宿くらわんか五六市 理事
合資会社塩熊商店 代表社員

小野紘詳

枚方宿くらわんか五六市とは

毎月第二日曜日に枚方宿の歴史街道で開催している手づくり・こだわりの“市”です。かつて東海道56番目の宿場町だったころの枚方宿の賑わいを甦らせたいという思いから名前が付けられました。



開催日時：毎月第2日曜 10:00～16:00
 開催場所：京阪本線「枚方市」駅から「枚方公園」駅の間
 出店数：約200店舗（時期により前後あり）
 入場料：無料



五六市の成り立ち

枚方宿にて賑わいを創出するため、枚方宿での出店希望者を集め、平成19年3月から「枚方宿くらわんか五六市」を開催しました。

開催初期の出店数は50店舗程でしたが、現在では250店舗が集まり、手作りの雑貨やアクセサリー等の作品やコダワリ品が並ぶ個性溢れる品々で訪れる人々を楽しませてくれています。

平成27年6月に枚方宿地区の活性化の活動継続を目的として、「一般社団法人枚方宿くらわんか五六市」を設立しました。



五六市の発展



たくさんの方々や、枚方市、枚方信用金庫などの他団体様のご協力もあり、様々な催しを行えるようになり、毎月の来場者数は平均数千人（ピーク時には1万人）をこえる賑わいのある市になりました。

一昨年度の主な催し

日本一贅沢な打ち水



地元の氷屋さんのご協力で行った氷入りの打ち水

枚方宿五六のあかり



地元協議会、市、専門学校、支援学校、里山会のご協力で行った竹灯籠



これからの五六市

新しい生活様式の一年を越えて

昨年から、五六市が置かれている状況はととても厳しい状態にあります。イベントや会議だけでなく何をしようにも正解のない

「新しい生活様式」

を意識しなければならず、思うように動けなくなっています。

それでも時は進んで行きます。

現在の状況だけでなく、ポストコロナのことも考えて未来に繋げるものを執り行わなければなりません。

五六市の課題

現在、議題に上がっていること

- 新しい生活様式に沿った新たな集客や活性化の仕方
バーチャルな賑わい、リアルでは程よい人数のイベントなど
- 来場者・来訪者への最適ルートの提示
街の見所や店舗などを混雑を避けて（三密を回避して）効率よく巡ってもらう
- 新たな取り組み
 - 街中で農業と共存し特産物を作って販売
 - 地元サブカルの発進



枚方宿で地元特産品販売！？

私たち五六市は、長く安定した運営続ける事を目標としています。そのために最も大事な資金を調達できる方法はないかと日々考えています。

一つに物販を考えており、その方法として街中に農場を出現させ、街中で特産品を作り販売できないかと思っています。場所は店舗前、家の庭、ビルの屋上、町のデッドスペース等で農業ができる、おいしい、珍しい作物が作れる、そんなシステムってできないでしょうか？

無から有を生み出すことは本当に大変ですが、新しい挑戦をして頂ける方に場所をご用意させていただきます。

枚方宿発！地元サブカル発信！

新型コロナウイルスの蔓延により、旅行やお出かけができない状況が続いています。そんな中でも今後を見据えて、地域の情報は発信しておくべきだと思います。

そこで、より多くの人々に枚方宿を知ってもらう為に、日本の誇るサブカルチャーを利用し、枚方宿をネタに制作していただけないでしょうか？

小説、漫画、アニメ、動画等制作していただいたものを、五六市のHPや専Youtubeチャンネルなどから発信していきたいと思います。

また、新しい発信方法がある方はぜひご提案いただきたいです。



サポートについて

実現可能性などの質問について応じさせていただきます。
なお、即答できない質問については、毎月開催する
会議にて審議して回答させていただきます。

最適ルートの手組みに対して：
見所や店舗の場所情報はご提供いたします。
また、現地調査にも同行させていただきます。

その他の手組みに対して：
必要であれば、会議に参加して直接ご相談いただく事もできます。

素晴らしいアイデアにつきましては「五六市アイデア賞」を、
実装に至った場合は、「五六市賞」の賞状と副賞に
枚方銘菓 あかつき（株式会社 呼人堂提供）を差し上げます。

ご清聴ありがとうございました

